

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町議会議員 森本 貴之



令和元年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	令和元年 8月 19日 (月) ~ 21日 (水)	
2	研 修 地	全国市町村国際文化研究所	
3	研 修 内 容	(内 容)	(場 所)
		(1) 地方財政制度の基本	全国市町村国際文化研究所
		(2) 自治体財政診断の考え方と手法	
		(3) 財政健全化における川西市の取り組み	
(4)			
4	研修結果 又は概要 (意見・感想)	<p style="text-align: center;">『地方財政制度の基本』 関西学院大学 小西砂千夫</p> <p>地方財政の果たす役割 我が国の内政を担っているのは地方公共団体であり、国民生活に密接に関連する行政は、そのほとんどが地方自治体の手で実施されている。 その結果、政府支出に占める地方財政のウェイトは国と地方の歳出決算・最終支出ベースで約3/5となっている。</p> <p>地方財政計画（通常収支分）の歳出の分析 地方財政計画（通常収支分）の歳出の大部分は、補助・地方単独ともに、小中高教職員・警察官等の人件費や社会保障関係費など、国の法令や制度等に基づく経費である。</p> <p>国と地方の税財源配分の見直し ・我が国の財政は、最終支出ベースにおける国と地方の比率と、国民が負担する租税収入の配分における国と地方の比率が逆転しており、両者の間に大きな乖離が存在。 ・地方歳入中の地方税の収入ウェイトは約4割。歳出規模と地方税収のギャップ（国庫支出金、地方交付税）が地域における受益と負担の関係を希薄化し、歳出増に抑止力が働きにくいと指摘。 ・国と地方の役割分担の大幅な見直しと併せて、地方が自由に使える財源を拡充するという観点から、国・地方間の税財源の配分のあり方を見直すことが必要。</p> <p>地方財政計画の役割 ① 地方団体が標準的な行政水準を確保できるよう地方財源を保証 ② 国家財政・国民経済等との整合性の確保 →国の毎年度の予算編成を受けて、予算に盛り込まれた施策を具体化するとともに、地方財政との調整を図る。</p>	

<p>研修結果 又は概要 (意見・ 感想)</p>	<p>③ 地方団体の毎年度の財政運営の指針</p> <p>したがって、次に掲げるような経費は地方財政計画には計上していない。</p> <p>○歳入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超過課税、法定外普通税、法定外目的税 <p>○歳出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家公務員の給与水準を超えて支給される給与 <p>地方交付税の性格</p> <p>所得税、法人税、酒税、消費税の一定割合及び地方法人税の全額とされている地方交付税は、地方公共団体の財源の不均衡を調整し、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるよう財源を保証するためのもので、地方の固有財産である。</p> <p>地方財政の財源不足の状況</p> <p>平成31年度は、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が一定程度増加するとともに、国の取組と基調を合わせて歳出抑制を図ったが、社会保障関係費の増や公債費が高い水準で推移することなどにより、4.4兆円の財源不足となり、地方財政計画の約4.9%の見込みとなっている。</p> <p>『自治体財政診断の考え方と手法』 北海道環境生活部次長 今井太志</p> <p>そもそも自治体の財政状況がいいか悪いかがなぜ問題となるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のその町の行政サービスの水準が、今後、維持できるのか、悪くなるのかの見込みを持つため ・財政状況が良い：サービス水準を維持・拡大しやすい 財政状況が悪い：サービス水準を下げなければならない恐れ、新規投資が難しい <p>現在のその町の行政サービス水準や質が高い低いかは財政状況が良い悪いとは別である。</p> <p>財政状況が悪い状態とは</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、赤字がある 2、貯金が少ない 3、借金が多い <p>「赤字」があるとは</p> <p>一年の間に入ってきたお金（歳入）より、使ってしまったお金（歳出）が多い場合、その余計に使ってしまった額を赤字という。</p>
---------------------------------------	---

<p>研修結果 又は概要 (意見・感想)</p>	<p>自治体は、法や条例に基づき、住民が支払うことに了解した税や公共料金を基本的な歳入として、議会の議決を得た予算に従って支出する仕組みとなっている。赤字があるということは、この大原則に反した状態である。</p> <p>財政状況を見るためのポイント</p> <p>「赤字」があるというのは、非常に例外的な状態。 ということは、財政状況を見るために必要な数字は「貯金」と「借金」。 どのように貯金や借金をみれば、財政状況の良し悪しがわかりやすいのか。</p> <p>他の市町村と比較する</p> <p>他の市町村と比べてみることで自分の町の財政状況の良し悪しを見ることができ ける。 では、どうやって他の市町村と比較するのか。</p> <p>比率化して財政指標で比べる</p> <p>人口 3000 人の町と人口 5 万人の町では、貯金が 3 億あるといっても、その重 みは異なり、貯金額や借金額そのものでは比較が困難。 そこで、比較が可能となるように比率化して比べてみる必要がある。その比率 化した数字が財政指標である。 貯金と借金の状況を同時に、かつ他の市町村と比較しながら見る表で財政状況 を見ると分かりやすい。</p> <p>『財政健全化における川西市の取り組み』 川西市 総合政策部長 松木茂弘</p> <p>川西市における財政健全化への取り組み</p> <p>① 歳出のコントロール 特に人件費と公債費が重要</p> <p>○組織のマネジメント機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弾力的な組織・職員定数管理…現場第一主義の徹底と効率的な人材配置 ・採用方法の多様化と人材育成…社会人採用、人材育成（同コストで質的充実を 図る） <p>○財政計画に基づく公債費のコントロール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起債発行額のコントロール ・償還額の平準化…償還ピークを見極めた財政運営 <p>○財政のブレーキとアクセルの踏み方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政健全化とまちづくり どのように両立させるかが財政運営の勘所になる <p>② 財政運営のウィークポイントにメスを入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地開発公社が抱える債務の解消 ・地場産業の再構築 事業の頓挫から新しいまちづくりへ ・第 3 セクターが抱える債務の解消と将来リスクの軽減
----------------------------------	---

<p>研修結果 又は概要 (意見・ 感想)</p>	<p>・市立病院の経営改革</p> <p>③ PFI 事業の導入</p> <p>平成24年度から本格的にPFIの取り組みをスタート。学校耐震化、公共施設の再配置計画などを効率的かつ効果的に進めるためにPFIに取り組んでいる。</p> <p>川西市PFI導入基本指針（平成26年6月策定）</p> <p>○基本目標</p> <p>民間事業者のノウハウを最大限活用し、市民サービスの価値向上と財政負担の削減・平準化を同時達成することで、市の行政課題を効果的に解決する。</p> <p>○導入にあたって配慮すべき重要な視点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、市の重点施策の価値向上 2、財政収支計画との整合 3、導入に向けての十分な体制 4、地元企業への配慮を検討 5、サービスの質の確保 6、情報公開 <p>PFIの現状と自治体の抱える課題</p> <p>地方公共団体と民間事業者が責任分担の明確化を図りつつ、収益性を確保するとともに、地方公共団体の民間事業者に対する関与を必要最低限にすることにより民間事業者の有する技術及び経営資源、その創意工夫等が十分に発揮され、低廉かつ良好なサービスが国民に提案されることでなければならない。</p> <p>官と民がWin-Winの関係を構築するために最適ナリスク配分モデルを設計し、事業全体の事業リスクを抑えることで、施設が生み出す事業評価の最大化を目指すものである。これには契約期間全体からLCCを考えた運営が重要になる。</p> <p>『まとめ』</p> <p>3日間の研修で地方財政制度の基本と自治体財政について学んだ。</p> <p>財政の基本から始まり、財政診断の実践や川西市の事例などを通し、より財政を理解する有意義な研修であった。お金がある無いは主観的な問題であり、比率化し比較し現状の把握が如何に大切かを学んだ。</p> <p>財政健全化とはサービスの充実と一体である。歳出を抑えるだけが成果ではなく、健全化とは住民に安心していただくことである。今回の研修で学んだことを自身の議員活動に積極的に取り入れ、住民福祉の増進に資する議会活動へ尽力したい。</p>
---------------------------------------	--